

第 4 回 Web グランプリ 浅川賞、スチューデント賞、審査委員特別貢献賞を発表！

420 社が加盟（2016 年 11 月末現在）する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：田中 滋子）は、第 4 回 Web グランプリ（<http://award.wab.ne.jp/>）「企業グランプリ」部門の「浅川賞」「スチューデント賞」「審査委員特別貢献賞」の各受賞サイトを決定いたしました。

グランプリ受賞サイト

賞名	サイト名	会社名
浅川賞	NEC Vision for Social Value Creation	NEC（日本電気株式会社）
スチューデント賞	ポーラ美術館 「ルソー、フジタ、写真家アジェのバリ」展・特設サイト	公益財団法人 ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

審査委員特別貢献賞

北河 広視 氏（日本特殊陶業株式会社）	高畑 正弘 氏（株式会社アーキタイプ）
久保島 希子 氏（ソフトバンク株式会社）	※参加企業：岩崎電気株式会社
後藤 真紀 氏（株式会社 NTT ドコモ）	長 伴樹 氏（資生堂ジャパン株式会社）
鈴木 和功 氏（株式会社アクアリング）	西地 達也 氏（三菱地所株式会社）
※参加企業：日本特殊陶業株式会社	ダイハツ工業株式会社

【第 4 回 Web グランプリ贈賞式開催概要】

- 日時 2016 年 12 月 7 日（水） 贈賞式 15：30-17：00
贈賞パーティ 17：00-19：00
- 場所：八芳園 東京都港区白金 1-1-1 <http://www.happo-en.com/access/index.html>
- 参加申込は下記よりご覧ください（贈賞式参加は無料）
https://www.wab.ne.jp/wab_sites/contents/2457

【お問合せ先】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会 Web グランプリ事務局
＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855 e-mail：award-info@wab.ne.jp

企業グランプリ部門 「浅川賞」 受賞サイト

浅川賞（アクセシビリティ賞）はIBM フェロー浅川智恵子氏にちなんで、2010年の第4回企業ウェブグランプリ開催時に創設された賞です。登録時自己申告によるアクセシビリティ対応度および、Webサイト診断ツール/専門家による検証に基づいて優秀サイトを選定。その中から浅川氏を含む視覚障がいを持つ審査委員によりグランプリが選出されます。本審査では、代替テキストの適切さ、構造化の適切さ、サイト利用（情報探索等）の容易さ、特色のあるアクセシビリティへの配慮など、当事者の視点に基づいた評価が行われます。

企業グランプリ部門 浅川賞

グ
ラ
ン
プ
リ

NEC Vision for Social Value Creation

NEC（日本電気株式会社）

<http://jpn.nec.com/profile/vision/>



浅川 智恵子氏プロフィール

工学博士、IBM フェロー

1985 年、日本 IBM 入社。IBM 東京基礎研究所にて情報アクセシビリティ技術の研究開発に従事。

1997 年、世界で初めての実用的な視覚障がい者向けインターネット専用音声ブラウザ「ホームページ・リーダー」を開発。当技術は、その後世界 11ヶ国語で製品化され、世界の視覚障がい者の情報アクセス手段を格段に向上させるきっかけとなった。2004 年には、Web 製作者のためのアクセシビリティ評価ツール aDesigner を開発し、無償公開した。2008 年からは視覚障がい者とボランティアが共同して Web アクセシビリティを改善するソーシャル・アクセシビリティ・プロジェクトを展開。

その後、高齢者、発展途上国の非識字者の情報アクセス障壁を低くすることを目指すオープンな共通ユーザー・インターフェース基盤の共同研究などに取り組む。2014 年秋より IBM フェロー兼カーネギーメロン大学客員教授として米国に赴任、視覚障がい者に現実世界への新たなアクセシビリティをもたらすことを目指すコグニティブ・アシスタンスと呼ばれる研究開発に取り組む。



- 2003 年 Women In Technology International が選定する女性技術者の殿堂入り
- 2005 年 第 3 回 Web クリエーション・アワード「Web 人アワード」
- 2009 年 音声ブラウザの開発と Web アクセシビリティ技術普及への貢献が評価され、情報処理学会喜安記念業績賞受賞
- 2010 年 企業 Web グランプリでアクセシビリティ部門「浅川賞」が創設される。
Web アクセシビリティの研究、技術の進歩への貢献が評価され SWE アチーブメント賞受賞
(The Society of Women Engineers)。
- 2011 年 テクノロジーへの顕著な貢献をした女性に与えられる Women of Vision Award 受賞(Anita Borg Institute)
平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)受賞
- 2012 年 視覚障がい者の文化向上に貢献した個人、団体に贈られる本間一夫文化賞受賞(社会福祉法人 日本点字図書館)
- 2013 年 紫綬褒章受章
- 2015 年 先駆的な活動を展開し、現代社会に顕著な影響を与えた女性に贈られる津田梅子賞受賞(津田塾大学)

企業グランプリ部門「スチューデント賞」 受賞サイト

領域、分野を問わず企業が制作・運用しているサイトを、生まれた時からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきた世代（中高生）が使いやすいかどうか、というポイントで評価し、選出されます。本年度は慶応義塾湘南藤沢中等部・高等部、芝浦工業大学柏中学高等学校コンピューター部の皆さんが選考委員となり、審査を行いました。スチューデント賞の選考方法は、9つの項目により審査を行い、項目ごとにポイント化した上で選出を行っています。

企業グランプリ部門 スチューデント賞

グラ
ンプリ

ポーラ美術館

「ルソー、フジタ、写真家アジェのパリ」展・特設サイト

公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

http://www.polamuseum.or.jp/sp/paris_2016/



優
秀
賞

ソードアート・オンライン ザ・ビギニング

Sponsored by IBM

日本アイ・ビー・エム株式会社

<http://www.mugendai-web.jp/vrmmo-project/>



企業グランプリ部門「審査委員特別貢献賞」受賞者

Webグランプリは、各参加企業同士がお互いに審査を行うことによって受賞企業が決定する、相互審査方式を取り入れています。1人あたりの約30サイトの審査を行い、それぞれのサイトについて良かった点と悪かった点を記入し、参加企業にフィードバックを行っています。この審査コメントこそが、今後の企業のWebサイトの向上にもつながる非常に重要なプロの声であると同時に、Webグランプリの大きな特徴の1つとなっています。「審査委員特別貢献賞」は、この相互審査の過程において非常に真摯に審査を行い、参加企業にとって有益となるコメントをした審査委員に対して送られます。本年は7名と1社が審査委員特別貢献賞を受賞しました。

審査委員特別貢献賞	
氏名	社名
北河 広視 氏	日本特殊陶業株式会社
久保島 希子 氏	ソフトバンク株式会社
後藤 真紀 氏	株式会社NTT ドコモ
鈴木 和功 氏	株式会社アクアリング ※参加企業：日本特殊陶業株式会社
高畑 正弘 氏	株式会社アーキタイプ ※参加企業：岩崎電気株式会社
長 伴樹 氏	資生堂ジャパン株式会社
西地 達也 氏	三菱地所株式会社
ダイハツ工業株式会社	ダイハツ工業株式会社

Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

過去 10 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web ク

リエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイト
の発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013
年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 4 回となります。



インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできな
いメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざ
まな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営
に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web
関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その
労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ

◆Web 人部門

◆企業グランプリ部門

に分かれています。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に
貢献してきた「人」に授与されます。

「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者
同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

Web 広告研究会について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、(社) 日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。(注：日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更) 業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 10 の委員会と 4 つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ・コーポレートブランド委員会 | ・調査委員会 |
| ・モバイル委員会 | ・サイトマネジメント委員会 |
| ・メディア委員会 | ・West Web マーケティング委員会 |
| ・ネット・プロモーション委員会 | ・Big Data 研究委員会 |
| ・ソーシャルメディア委員会 | ・動画活用委員会 |

<プロジェクト>

- | | |
|------------------|---------------------|
| ・Web グランプリプロジェクト | ・東日本大震災・被災地支援プロジェクト |
| ・Web 人材育成プロジェクト | ・PR プロジェクト |

- 会員社 (2016 年 11 月末現在) 420 社
- 代表幹事 田中 滋子 (NEC)
- 事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 銀座東和ビル8階
- ホームページ <http://www.wab.ne.jp/>